

遊覧船ターミナル「かもめりあ」にガラス型ペロブスカイト太陽電池を設置 ～西日本の公共施設で初※の運用開始～

神戸市とパナソニック ホールディングス株式会社（以下、パナソニック HD）、パナソニック環境エンジニアリング株式会社（以下、パナソニック環境エンジ）および神戸港 "U" パークマネジメント共同事業体は、中突堤中央ターミナル（通称：かもめりあ）において、ガラス型ペロブスカイト太陽電池の実証を実施し、2026 年 9 月 24 日より運用を開始します。

なお、ガラス型ペロブスカイト太陽電池の公共施設での設置は西日本初（※）の取り組みです。本実証により、設置工法、外観、発電能力を検証し、都市景観と調和する再生可能エネルギーの導入拡大を加速します。

1. 背景

ペロブスカイト太陽電池は、従来太陽電池では設置が困難であった建物屋根・窓・壁面等への導入が期待され、政府が 2026 年 7 月に閣議決定した日本成長戦略においても、経済・エネルギー安全保障の切り札として、17 の戦略分野および重点投資対象に指定されています。

神戸市では、都市部における再生可能エネルギー（以下、「再エネ」）導入の適地が限られているという課題から、ペロブスカイト太陽電池に注目しており、これまでも、神戸空港制限区域内での実証設置等を進めてきました。

このたび導入するガラス型ペロブスカイト太陽電池は、窓ガラスなど建材一体型の再エネとして長期耐久性とデザイン性を有し、都市景観に調和した再エネ導入の新たな可能性が期待されるもので、港町神戸を代表する再開発地区・神戸ウォーターフロントエリアに設置します。



ガラス型ペロブスカイト太陽電池の設置状況



波をデザインしたガラス型ペロブスカイト太陽電池

2. 概要

- ・使用電池：ガラス型ペロブスカイト太陽電池（施設正面入口に設置し、電力系統に接続）
- ・電池サイズ、設置枚数：H900×W1,300、6mm+6mm 合わせガラス 8 枚を設置
- ・実証場所：神戸市中央区波止場町 7-1 中突堤中央ターミナル（かもめりあ）
- ・実証期間：2026 年 9 月～2029 年 3 月（予定）
- ・実証内容：設置工法の検証、外観・発電能力の検証など

3. 神戸市および各事業社の役割

- ・神戸市：全体調整、広報など
- ・パナソニック HD：ガラス型ペロブスカイト太陽電池の技術開発、実証計画、実証成果の分析など
- ・パナソニック環境エンジ：ガラス型ペロブスカイト太陽電池の設計・施工
- ・神戸港“U”パークマネジメント共同事業体：実証フィールド提供、施工運営上の連携など

本実証の位置づけ

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構が実施する 2025 年度「グリーンイノベーション基金事業／次世代型太陽電池の開発／次世代型太陽電池実証事業」に、パナソニック HD 等が採択された「ガラス型ペロブスカイト太陽電池の量産技術開発とフィールド実証」プロジェクトの一環として実施するものです。

4. 導入拡大に向けた方針

神戸市および各事業者は、ペロブスカイト太陽電池の更なる導入拡大に向け、本実証を通して得られた知見等も活用しながら、引き続き、市内施設管理者等との協議・連携を進めていきます。パナソニック HD は、実環境での検証結果を量産技術開発に反映し、ガラス型ペロブスカイト太陽電池の社会実証に向けた取組みを加速していきます。

【参考】ガラス型ペロブスカイト太陽電池とは

ペロブスカイト太陽電池は、インク状の材料をガラスやフィルムなどに塗布して形成できることを特長としており、従来の技術では設置が困難であった場所にも導入が期待される日本発の技術です。

ガラス型ペロブスカイト太陽電池は、建物の窓や壁、バルコニーなどで使用可能な建材一体型太陽電池としての活用を想定し、パナソニック HD 等により量産技術の開発が進められています。



ガラス型ペロブスカイト太陽電池
（出典：パナソニック HD）

※ 2026 年 9 月 24 日 神戸市およびパナソニック HD によるウェブ調査

＜本件に関するお問い合わせ先＞

神戸市環境局脱炭素推進課 三ツ石・白川

TEL：078-595-6088 E-mail：energy@city.kobe.lg.jp

パナソニック環境エンジニアリング株式会社 経営企画室 お問い合わせフォーム

<https://panasonic.co.jp/hvac-cc/cgi-bin/peseng/inq.cgi>